



シングルレバー混合水栓用 ヘッドパーツ

PK-A-1943-10, PK-A-1943-11
PK-A-1943-21, A-1943-10
A-1943-11, A-1943-21

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
部品交換してください。

●安全上のご注意

●部品交換完了後、各部を操作し正常に作動すると共に水漏れなどの不具合が無いことを確認してください。

●部品交換についてのご注意

●ヘッドパーツ固定方法が大きく2種類に分かれ、部品交換方法が若干異なります。

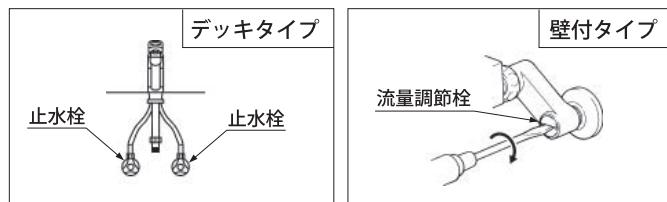
●部品構成は品番によって若干異なり、右記の通りです。

構成部品	ヘッドパーツ本体	ブッシュ	ピン	ケース押え
部品品番				
PK-A-1943-10,A-1943-10	1個	2種類 各1個	1本	なし
PK-A-1943-11,A-1943-11	1個	2種類 各1個	なし	1個
PK-A-1943-21,A-1943-21	1個	1個	なし	1個

●部品交換方法

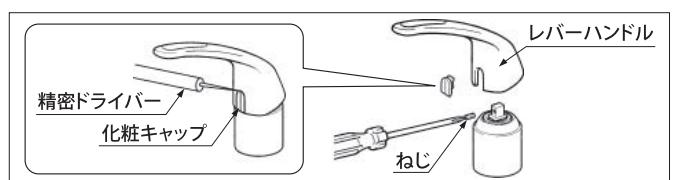
①止水栓（デッキタイプ）または流量調節栓（壁付タイプ）を閉じます。
※デッキタイプにてカウンターアーム下に止水栓がない場合は元栓を閉じてください。

※レバーハンドルを操作し、湯水が出ないことを確認してください。



②化粧キャップを精密ドライバー（マイナス）で外し、レバーハンドルを引き上げ、レバーアームの穴にドライバー（プラス）を差し込み、固定ネジを左に回してゆるめ、レバーハンドルを引き抜きます。

※化粧キャップのないタイプもあります。
※1986年以前の水栓は固定ネジがマイナスネジとなっています。

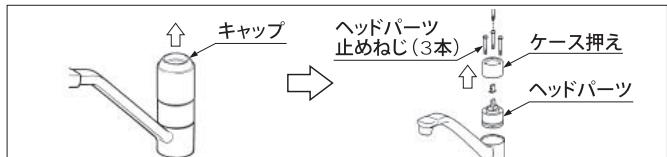


【注意】レバーハンドル下の部品が、『工具掛けのないキャップ』のタイプと『工具掛けのある固定ナット』のタイプでは、以降の部品の交換方法が若干異なります。

工具掛けのないキャップの場合

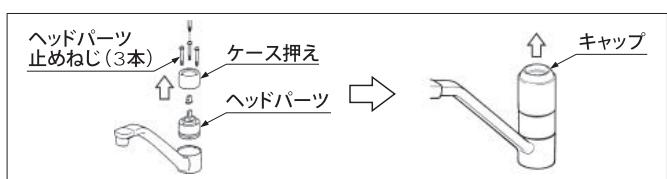
③キャップを上方に引き抜き、止めねじ3本をドライバー（プラス）でゆるめ、ケース押え、ヘッドパーツを外します。

※ヘッドパーツがきつくて外せない場合は、再度レバーハンドルを組み付け、レバーハンドルごと引き抜けば比較的容易に外せます。



④新しいヘッドパーツ裏面にシートパッキンがしっかりと収まっていることを確認して本体にセットし、ケース押えをかぶせドライバー（プラス）で止めねじ（3本）を締め付けて固定しキャップをはめます。

※ヘッドパーツの突起部（1箇所）を本体の穴に位置合わせしてセットしてください。



【注意】以降の部品交換方法は両タイプ共通です。

⑤レバーハンドルをヘッドパーツに差し込み、小形ドライバーで固定ねじを締め込みヘッドパーツに固定します。

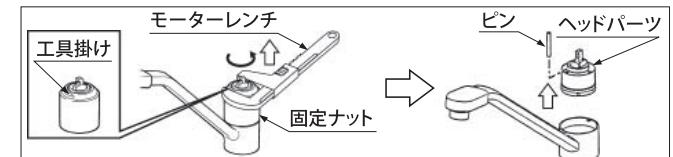
※締め込んでもレバーハンドルにガタがある場合は、レバーハンドルを一旦外して旧ブッシュを取り除き、同梱のブッシュの内、ガタの少ない方をセットしてください。

※カウンターアーム下の止水栓（デッキタイプの場合）または流量調節栓（壁付タイプの場合）を元の位置まで開け、レバーハンドルを操作し、動きがスムーズで漏水などの不具合がないことを確認してください。

工具掛けのある固定ナットの場合

③モーターレンチを工具掛け部に掛け固定ナットを左に回してゆるめて外し、ヘッドパーツとピンを外します。

※ヘッドパーツがきつくて外せない場合は、再度レバーハンドルを組み付け、レバーハンドルごと引き抜けば比較的容易に外せます。



④新しいヘッドパーツ裏面にシートパッキンがしっかりと収まっていることを確認して本体にセットし、手で固定ナットを右に回してしっかりと締め付けてから、ヘッドパーツと固定ナット間を油性ペイント等でマーキングし、モーターレンチで固定リングを3mm程増し締めします。

※ヘッドパーツの突起部（1箇所）を本体の穴に位置合わせし、ピンをしっかりと差し込んでセットしてください。

